

Vol.2 すみだ産業情報レポート

Topics

区公式ホームページに「職員取材日記」を公開！

平成 30 年 10 月から新たに開設した「すみだ産業情報ナビ」内に、「**職員取材日記**」を公開しました！

職員取材日記では、区内の産業・観光に関するあらゆるコトについて、産業観光部の職員自らが取材を行い、まちの“生の声”を毎週金曜日にホームページ上でお届けしていきます！

また、このレポートの中でも実際に「職員取材日記」で公開された記事をいくつか紹介します！どうぞお楽しみに！



墨田区の業況

< 今期 来期予想 >

製造	
卸売	
小売	
サービス	
建設	
不動産	

詳細は 6 ページへ

「墨田区産業功労表彰」受賞者に表彰状を贈呈！

産業功労表彰式を平成 31 年 2 月 2 日（土）に曳舟文化センター[墨田区京島 1-38-11]で行い、受賞者に表彰状と記念品を贈呈しました。

産業功労表彰は、「伝統的手工芸技術保持者表彰」、「優秀技能者表彰」、「中小企業等永年勤続優良従業員表彰」の 3 部門に分かれており、いずれも永きにわたり、区内の産業発展に大きく貢献された方々の功績をたたえるものです。

表彰者等の詳細は、「すみだ産業情報ナビ」からご確認いただけます。



< 平成 30 年度産業功労表彰受賞者数 >

伝統的手工芸技術保持者：3 名
優秀技能者：23 名
中小企業等永年勤続優良従業員：122 名

✓ PICK UP 企業（平成 30 年 7 月～9 月）

Vol.56 2018-07

株式会社プラネックス（安全教育映像制作）

Vol.57 2018-08

Polaris Infotech 株式会社（取扱説明書制作）

Vol.58 2018-09

株式会社エスアールエス・スガヤ（うるし紙製造）

株式会社積木製作（VR サービスの開発・提供）

✓ PICK UP 企業とは？

オンリーワンの技術を持つなど、注目の区内企業に取材し、毎月 1、2 社ホームページ上で紹介しています。

今、注目の企業・
特色ある企業に密
着取材！！



職員取材日記 ダイジェスト

- 墨田革漉工業株式会社 ~人望と技術の佐藤さん~ (2019年2月8日掲載)
- 江戸木目込人形 塚田工房 ~七代目塚田真弘さん~ (2019年2月15日掲載)

実際に掲載された記事を一部編集して掲載しています。

すみだかわすきこうぎょう

墨田革漉工業株式会社 ~人望と技術の佐藤さん~

住所：墨田区八広 4-43-4

すみだは産業のまち。なかでも皮革産業は古くからの歴史をもつ伝統的な産業です。

今回は皮革加工業の墨田革漉工業株式会社を取材しました。同社も半世紀以上続く歴史ある企業のひとつです。

同社は、工場で使用している革の面積値を測定する機器「皮革面積計」の老朽化を受けて、昨年最新の「デジタル式皮革面積計」を導入しました。

積極的に設備投資を行う同社代表取締役 佐藤元治さんにお話を伺いました。



- ◀ 皮革面積計について説明する佐藤さん(中央)
動くベルト上に皮革を置いて流し、その影を計測することにより、面積値を測定する。手前のベルトの細かい穴は、佐藤さんが中心となり一つ一つ手作業で空けた。

当社の事業について佐藤さんは、「うちは皮革加工を行っています。天然物の革はそれぞれ大きさや厚みが違うから、そのままでは素材として使えないんだ。靴、カバン、衣料品等、それぞれに合った大きさや厚さに加工する。それをアイロンしたり柄をつけたりしてきれいに仕上げ、出荷してるんだよ。」と身振り手振りを交えて説明してくださいました。柄については、型押や箔貼り、各種プリント技術等による多様な色柄の加工ができ、素材とそれぞれの加工を組み合わせたお客様のオリジナル素材を作ることのできるそうです。また、毎年「革の本場」イタリアに出向き、世界最新のデザインや加工技術の導入を進めるほど、熱がこもっています。



(右写真：美しく加工された革。本社の「ショールーム」に展示され、実際に触ることができる。)

今回導入された機械については、「皮革面積計は前に使っていたものより精度が高くなって、天然物でそれぞれ大きさや厚さが違う革をきちんとそろえて出せるから、品質がよくなったよ。前の皮革面積計では正確な数値を測れなくて、測定値よりも実際の面積が小さいというような、モラルの低いものが出てしまう可能性があったけど、最新のデジタル式皮革面積計ではそれがいいから安心だね。お客さんとの信頼関係を守り続けることが大事だからさ。」と目を輝かせる佐藤さん。単に業務効率が改善されただけでなく、お客様との関係性にも良い影響を与えているようです。

(右写真：加工後のサンプル生地。取引先に配布し、素材を確認できるようにしている。)



最後に佐藤さんの会社についてのお考えをお聞きすると、「昔この辺には革工場がいっぱいあったんだけど、ここ数十年間でほとんどなくなっちゃったよ。それに今回導入した皮革面積計のメーカーも、全国であと2社か3社しかないんじゃないかな。だから将来的には工場に必要な機械も買えなくなってしまう不安がある。それでも何とか今のようにお客さんに革を届け続けるために、私自身も機械の修理やりノベーションを勉強してるんだよ。機械に何か問題があったときに自分で解決できたらいいからね。」とやる気に満ちたお答えが返ってきました。

さらに「実は今工場にある機械の中にも、自分で手を加えたものがあるよ。この測定器のベルトに穴がいっぱいあるでしょ。これは革を置いたときに固定されるように吸着するためのものなんだけど、去年の暮れに全部私が手作業でガッチャンガッチャン空けたんだよ。いろんな人に手伝ってもらいながらだけどね。」と教えてくださいました。見たところ5メートルほどあるベルトには無数の穴が等間隔で空けられており、まだ勉強中とは思えない佐藤さんの高い技術が伺えました。

また、年末にそのような大変な作業に協力してくれる方がたくさんいらっしゃることも、佐藤さんの人望の厚さを感じられました。

- 取材を終えて -

佐藤さんは「昔は近所にたくさんの革工場があったけど、今はほとんどなくなってしまって寂しいよ。」と仰っていましたが、取材時同社では10名以上の従業員の方々がいきいきと働かれており、活気ある雰囲気でした。今回の取材を通じて、皮革産業が縮小しているからこそ、商品のモラルを高め、お客様との信頼関係を維持・向上することが大切であるということ学びました。お忙しい中工場をご案内いただき、質問にも丁寧に答えてくださった佐藤さんのあたたかい人柄からも、信頼やモラルを大切にする墨田革漉工業株式会社の姿勢を感じることができました。

江戸木目込人形 塚田工房 ～七代目塚田真弘さん～

住所：墨田区向島 2-11-7

東武伊勢崎線とうきょうスカイツリー駅から徒歩 10 分の場所にある江戸木目込人形「塚田工房」。今回は、墨田区伝統工芸保存会会長であり塚田工房を経営されている六代目塚田詠春さんのご子息であり、弟子でもある七代目塚田真弘さんにお話を伺いました。



Q 始めから家業を継ぐと決めていたのですか？

A 元々は継ぐつもりはありませんでした。親からも継ぐようには言われていませんでした。

Q どうして家業を継ぐと決めたのですか？

A 父が会長を務めている墨田伝統工芸保存会のホームページ作成をお手伝いした際に、職人さんの話を聞いて、家業を継いで人形師になるのも面白そうだなと思ったのがきっかけです。

Q お父様が師匠ですが、親子であり、師弟であることの難しさはありますか？

A 難しいと感じたことはありません。今も昔も親子のまま。お互いに意見を出し合うことはあっても、ぶつかることはありません。父は自分の意見を押し付けるタイプではなく、自分が良いと思うものを作りなさいというスタンスなので、関係は良好です。

Q 仕事をする上で、大事にしていることは何ですか？

A 人形を見た人が安らぐもの、ほっこりするものになるように心がけています。

Q 最近は外国人観光客の人も増えてきていますか？

A 増えてきているので、外国人観光客向けの商品も作りました。葛飾北斎の赤富士や波裏をモチーフにしたマグネットはお土産で買っていく人が結構います。すみだモダンにも認証された相撲ペーパーウェイトも人気です。

Q 観光客の方にメッセージをお願いします。

A 墨田区は浅草と比べると地味ですが、その分リアルな下町を見られるのが魅力。だから、2回、3回来るリピーターの人にはお勧めの街だと思います。

また、塚田工房では、木目込人形の製作体験ができるので、もっと外国人観光客の方に来てもらえると嬉しいです。



展示されている雛人形



江戸木目込マグネット



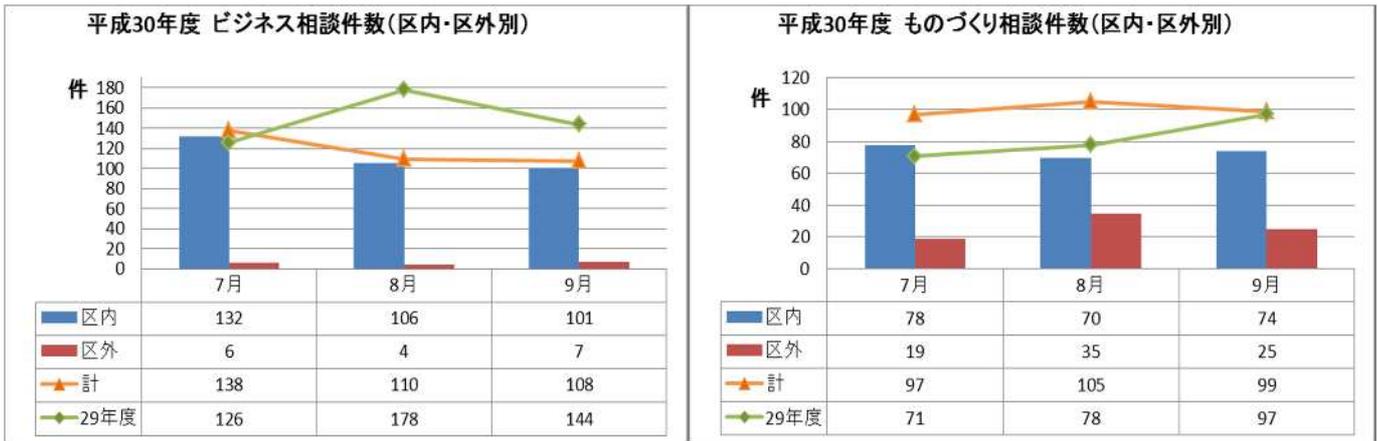
塚田工房の店先にて

すみだビジネスサポートセンター実績（7月～9月）

1) 相談件数

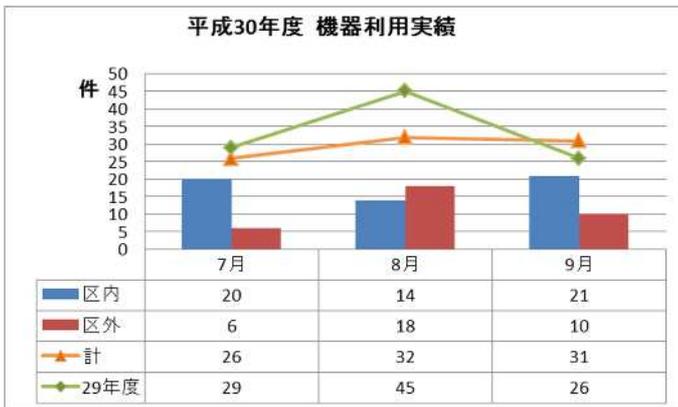
すみだサポートセンターの相談実績について、7月のビジネス相談件数は、前年よりも多かったですが、8月に入ると相談件数が減少しました。

一方、7～9月のものづくり相談件数は、前年よりも相談件数が多く、コンスタントに毎月100件程度の相談があることがうかがえます。



2) 機器利用件数

機器利用については、8月の利用件数が若干増加していますが、この3か月間はおおむね横ばいで推移しています。利用者については、8月は区内よりも区外の方が多かったことがわかります。



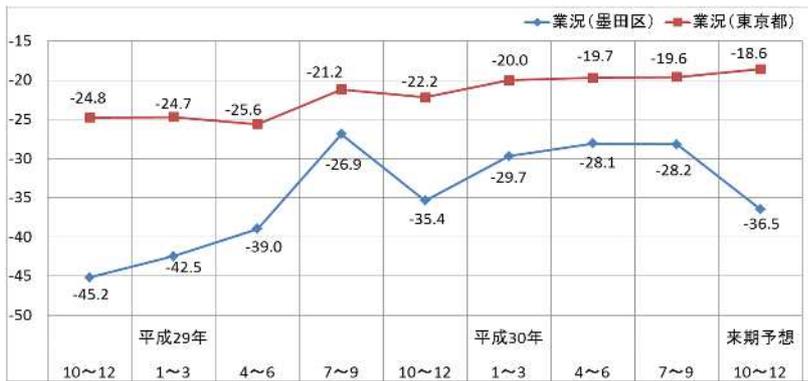
3) セミナー実施状況

平成30年7～9月は、3Dプリンター講習や表面粗さ実習講座などのものづくり系セミナーのほか、チラシ作成勉強会を2回に分けて開催しました。

また、8月の夏休み期間中には、「すみさが夏休みキッズチャレンジ」を2回開催しましたが、どちらも定員を大きく超える募集があり、参加者からも大変好評でした。

開催件数：計6回 参加者数：延べ34名

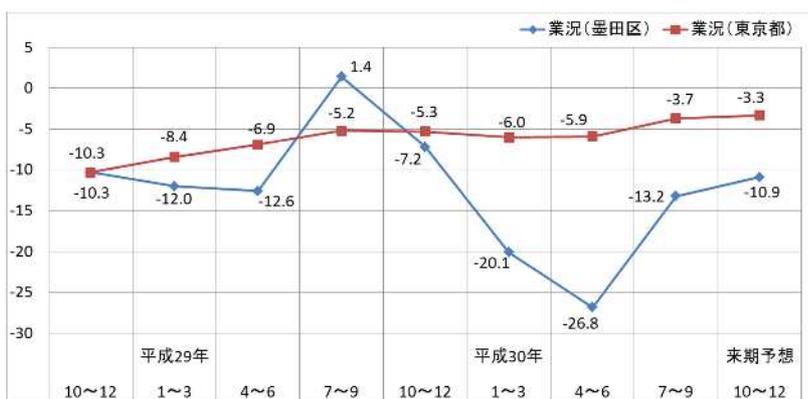
小売業



業況は 0.1 ポイント減の -28.2 と横這いであった。また、売上額は 4.6 ポイント増の -17.8、収益は 4.4 ポイント増の -18.1 とわずかに持ち直した。

販売価格は 6.2 ポイント増の 7.1 と大幅に上昇幅が拡大し、仕入価格は 8.1 ポイント増の 23.8 とかなり上昇が強まった。

サービス業

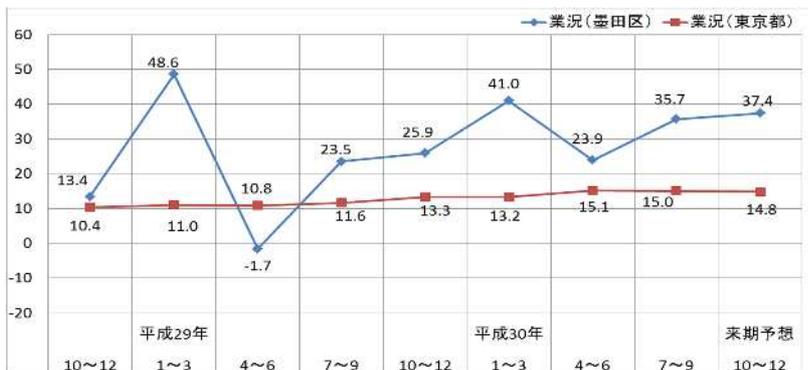


業況は 13.6 ポイント増の -13.2 と大幅に上向いた。

売上額は 0.5 ポイント増の -10.0、収益は 0.4 ポイント増の -17.3 と前期並であった

料金価格は 2.7 ポイント減の -1.3 と下降へ転じ、厳しさを強め、材料価格は 5.6 ポイント減の 10.2 と大幅に上昇が弱まった。

建設業

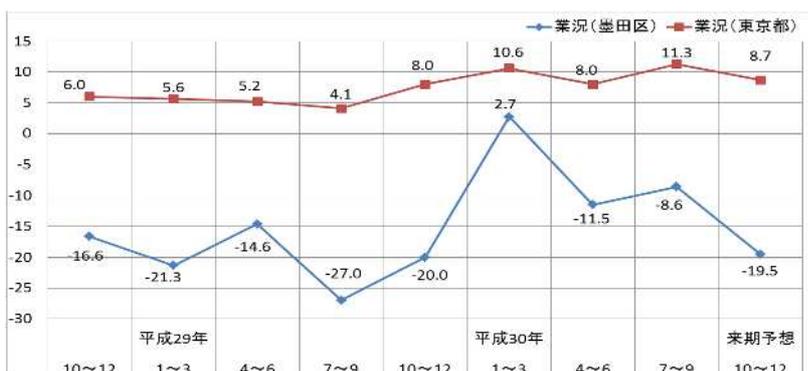


業況は 11.8 ポイント増の 35.7 と大きく好調感が強まった。

売上額は 18.1 ポイント増の 48.5 と大きく増加幅が拡大し、収益は 25.0 と変化がなかった。

請負価格は 9.1 ポイント増の 27.4 と上昇傾向を強め、材料価格は 25.2 ポイント増の 61.6 と非常に上昇が強まった。

不動産業



業況は 2.9 ポイント増の -8.6 とわずかに悪化幅が縮小した。

売上額は 7.6 ポイント増の -1.5 と大幅に減少が縮小し、収益は 5.2 ポイント増の -3.8 とやや減少幅が縮小した。

販売価格は 0.2 ポイント減の 7.7 と前期並で、仕入価格は 18.7 ポイント増の 17.7 と厳しい状況に転じた。

商店街×学生ドリームプランコンテストが開催されました！



「商店街×学生ドリームプランコンテスト」が平成31年2月16日(土)に開催されました。商店街は今、日用品や嗜好品などの流通を大型商業施設やネットスーパーなどに奪われ、従来の店舗経営だけでは立ち行かなくなってきており、今後は「地域コミュニティの担い手」としての役割を期待されています。

本イベントでは、「人生を豊かにする商店街、個店」をテーマに、3つの高校(都立橘高等学校、都立本所高等学校、私立安田学園高等学校)と3つの大学(千葉大学、千葉商科大学、早稲田大学)から、商店街の明るい未来を形づくるための提案をしてもらいました！

当日は、それぞれが学生ならではの視点で提案を行い、高校生の部は、“女性と子どもが通いたくなる理想の商店街づくり”を提案した都立橘高等学校が、大学生の部は、“商店街内への勉強ラウンジの設置”を提案した早稲田大学が一位を獲得し、表彰を受けました！

主催：墨田区商店街連合会 / 東京東信用金庫 / 株式会社 Ludius

後援：墨田区 / 東京商工会議所墨田支部